Ichthy 投稿規定

雑誌名 Ichthy, Natural History of Fishes of Japan（Ichthy, Nat. Hist. Fish. Jpn.）
ISSN 2435-7715

目的

日本は，その地理的位置や地史，周囲を流れる複雑な海流，多様な環境などによって，世界でも類を見ない高い魚類多様性を擁している．Ichthy は魚類学の基礎的知見の蓄積を目的とし，日本産魚類の分類や分布，生態などの自然史に関するあらゆる分野の論文を和文で掲載する査読付きオンラインジャーナルである．

出版形態

オンラインジャーナルであり，紙媒体での出版は行わない．受理後は迅速に Web 上で公開され，閲覧・ダウンロードは制限なく可能である．1 論文あたりのページ数やカラー図の掲載に制限はなく，投稿・掲載に関わる費用は無料である．

投稿論文の内容

日本産魚類の自然史に関連した未発表のものとし，分類，系統，形態，分布（記録や魚類相），生態，行動，遺伝などに関する論文を対象とする．ただし，新分類群の記載は受け付けない．

投稿資格

論文の投稿資格は問わない．

原稿作成

電子投稿のみを受け付ける．原稿は Microsoft Word，表は Microsoft Word あるいは Excel，図は高解像度の JPEG で作成すること．図が複数枚ある場合は，査読用に 1 つの PDF ファイルにまとめて投稿することが望ましい．投稿メールは最大 9MB とする（超える場合は図を圧縮する）．

原稿送付先

Ichthy 編集委員長　本村浩之　motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp

原稿の受付

投稿後数日以内に編集委員会から投稿受付の連絡が送られる．受付の連絡が来ない場合には，原稿送付先に問い合わせること．

論文掲載の可否

論文掲載の可否は査読者の意見を参考にして，編集委員会が決定する．標本の公的機関への保管が明示されていない分類学分野の論文は掲載しない．分布記録に関しても，同定根拠を担保

するために，標本の所蔵機関と登録番号を明示する．根拠となる標本を伴わない分布記録は原則として掲載しない．ただし，以下の場合は写真のみに基づく記録でも掲載可能．1）サメやマンボウなどの大型個体で物理的に標本保管ができない場合，2）包括的な魚類相や生物地理を扱う場合，3）魚類学における重要な知見とみなされる場合．また，放流された観賞魚（改良メダカなど）の単純な記録報告は，形態学的，生物学的，あるいは生物地理学的な新知見を含む場合を除き，掲載しない．

論文受理日と原図の送付

担当編集委員によって掲載可と判断された原稿について，編集委員長が確認した日を受理日とする．著者は担当編集委員とのやり取りの中で担当編集委員宛てに原図を送る．合計 9MB を超える図の場合は大容量データ通信サービス等を利用する．

著作権の移譲

著者は論文が受理された時点で，当該論文に関する著作権を鹿児島大学総合研究博物館に移譲する．論文はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス「表示ー非営利ー改変禁止」とし，論文のクレジット（表題や著者名，雑誌名，巻，頁など）を表紙し，非営利目的で論文 PDF を改変しないことを主な条件に，自由に再配布可能．そのため，著者は掲載論文を著者ウェブサイトや機関リポジトリ，ResearchGate 等へ載せることができる．

校正

著者は初校を受領した後，原則 24 時間以内に校正を行い，編集委員長へ返送する．

原稿作成要領

原稿の用紙サイズは A4 版とし，横書きで作成する．上下左右の余白は 2 cm 前後とする．行間は 1–1.5 行とする．文字は 12 ポイント，フォントは MS P 明朝と Times New Roman とし，左詰めで作成する．行番号とページ番号を入れる．

原稿は次の順番と項目を記述する．和文標題，和文著者名，和文所属（所属がない著者は住所を市町村名まで記入）と電子メールアドレス，英文略題（10 語以内），英文著者名，英文標題，英文要旨，本文，謝辞，引用文献，図の説明．表と図は本文とは別ファイルとする．

和文標題に種名を含める場合は標準和名のみを記し，特別な事情※がない限り学名は併記しない．※和名がない種を示す場合，新称を提唱する場合，異名関係を論じる場合は学名を記す．

英文要旨は 100–300 語程度で簡潔にまとめる．研究目的の記述は不要である．

数字や英語はすべて半角．カッコは原則全角カッコを使用し，カッコの前（あるいは後ろ）とカッコの中が半角英数の場合のみ半角カッコを使用する．例：松沼（2020），Matsunuma (2020).

初出の学名には命名者と記載年を付記する．ただし，学名の原記載を引用文献に加える必要はない．2 名の命名者を示す場合，「&」や「et」は用いず「and」でつなぐ．3 名以上の場合は「et al.」とする．学名は斜体で示す．なお，共生関係や生息地の環境を論じる際に必要な植物の場合は初出時に和名と学名を書くが，学名に命名者と記載年は不要である．

「et al.」,「ca.」,「e.g.」,「viz.」,「sensu」などは斜体にせず，立体とする．調査船の名前を英語で示す際は斜体とする．

数値の範囲を示す場合は「-」（ハイフン）ではなく，「–」（en-dash）を使用する．「～」は使用しない．表中で no data 等を示す場合は「—」（em-dash）を使用する．

緯度経度は原則として 60 進法で表記し，記号は degree sign，prime，double prime を「00°00′00″」のように使用する．Quotation mark や Acute Accent などを使用しない．

・文献の引用

本文中で連記する場合は，文献の出版年代順とする．同じ年に出版された複数の文献がある場合は，出版月日の順とする．引用文献欄では，著者名のアルファベット順とする．

本文中での引用は次のとおりとする．吉田（2020）あるいは（吉田・中村，2018; Wada and Nakamura, 2018, 2021；藤原ほか，2019; Matsunuma et al., 2020a, b）とする．

文献の特定のページや図表を引用する際は出版年の後にコロン＋図表で表記する．例：吉田（2020: fig. 1），Wada (2020: table 1)，Nakamura (2020: 123)．なお，過去の文献の図表は小文字で，本研究の図表は頭文字を大文字にする．例：（藤原，2020: fig. 1；本研究，Fig. 1）．

公的なウェブサイトを引用する場合は，文献と同様の扱いとする．

未発表として扱われる卒業論文や修士論文，博士論文，学会講演要旨などは引用できない．また，個人が投稿した Youtube 動画なども引用できない．

Ichthyological Research や魚類学雑誌など，早期公開版（オンライン・ファースト版）がある雑誌は，それがオリジナルであるため，早期公開版を DOI (Digital Object Identifier)を用いて引用する．後日ページ番号が振られたバージョンが出版済の場合はその情報も付記する．2 つのバージョンが年をまたいで出版された場合は出版年月を加えることを推奨する．

巻 Vol.と号 No.がある雑誌は巻のみを記入する（ただし，号ごとにページ数がリセットされる雑誌の場合は両方記入）．巻がなく通し番号のみの雑誌の号は括弧なしで示す．

【雑誌の引用】

Fujiwara, K., T. Suzuki and H. Motomura. 2019. Two new dwarfgobies (Gobiidae) from southern Japan: *Eviota amamiko* and *Eviota perspicilla*. Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-019-00712-x (Oct. 2019), 67: 139–154 (Jan. 2020).

Randall, J. E. and P. C. Heemstra. 1991. Revision of Indo-Pacific groupers (Perciformes: Serranidae: Epinephelinae), with descriptions of five new species. Indo-Pacific Fishes, 20: 1–322.

森下悟至・三木涼平・瀬能　宏・本村浩之．2020．太平洋初記録のカマス科魚類 *Sphyraena arabiansis* ヤシャカマス（新称）と本種の標徴に関する新知見，および *S. barracuda* オニカマスとの形態比較．魚類学雑誌，doi: 10.11369/jji.19-051 (Mar. 2020), 67: 73–83 (Apr. 2020).

【本の一部の引用】

Hata, H. 2019. Family Engraulidae, pp. 199–210. In Koeda, K. and H.-C. Ho (eds.) Fishes of southern Taiwan. National Museum of Marine Biology & Aquarium, Pingtung.

瀬能　宏. 2013. ハタ科, pp. 752–802, 1960–1971. 中坊徹次(編)日本産魚類検索　全種の同定. 第 3 版. 東海大学出版会, 秦野.

【本全体の引用】

Cuvier, G. and A. Valenciennes. 1840. Histoire naturelle des poissons. Vol. 14. Pitois-Levrault, Paris. xxii + 2 + 464 + 4 pp.
吉野雄輔. 2018. 山渓ハンディ図鑑 13. 改訂版. 日本の海水魚. 山と渓谷社, 東京. 544 pp.

【ウェブサイトの引用】 分布記録の補助的情報などで使用する場合を除き, 公的機関以外のウェブサイトの引用はできるだけ避ける

Fricke, R., W. N. Eschmeyer and R. van der Laan (eds.). 2020. Eschmeyer's catalog of fishes: genera, species, references. http://researcharchive.calacademy.org/research/ichthyology/catalog/fishcatmain.asp (21 Jan. 2020)
沖縄美ら海水族館. 2020. 稀種「ソコモンガラ」の展示を開始. 沖縄美ら海水族館ホームページ お知らせ　展示情報　2020 年 6 月 5 日. https://churaumi.okinawa/topics/1591329604/ (12 Jan. 2021)

・Tables

表は Microsoft Word あるいは Excel を用いて英文で書き, 横線のみを用いて作成する. タイトルを表全体の上に書き, 表内の補足説明は脚注に記す.

・Figures

図の説明文(キャプション)や図内の文字は英語を用いて作成する. 複数の図を合わせる場合の個別番号は大文字のアルファベット A, B, C とし, フォントは Arial を推奨する. 両段幅で掲載を希望する図は幅 200 mm, 片段の図は幅 100 mm で作成する. カラー図は RGB 8 ビットカラーモードで, 白黒写真とグレーの線画やグラフは 8 ビットグレースケールで, 白黒 2 値の線画は 1 ビットでそれぞれ保存する. カラーモードとグレースケールの場合は 350 dpi, 白黒 2 値の場合は 1200 dpi とする. 受理後に提出する原図は高解像度の JPEG 画像とする.

・Videos

オリジナル動画を本文中で引用することができる. 動画は J-Stage の電子付録として掲載するため, J-Stage の規定に従って 1 本 50 MB 以下の動画のみを受け付ける. 動画は Video 1, Video 2 とし, 説明文(キャプション)は英語で作成する. なお, 動画が多数ある場合や 50 MB を超える場合は Zendo などの研究データを公開できるサイトに当該動画を登録して, その際割り当てられる DOI を引用することを奨励する.

2020 年 7 月 1 日　制定
2021 年 1 月 12 日　一部改訂

2021 年 9 月 6 日　一部改訂
2024 年 2 月 27 日　一部改訂
2025 年 4 月 22 日　一部改訂